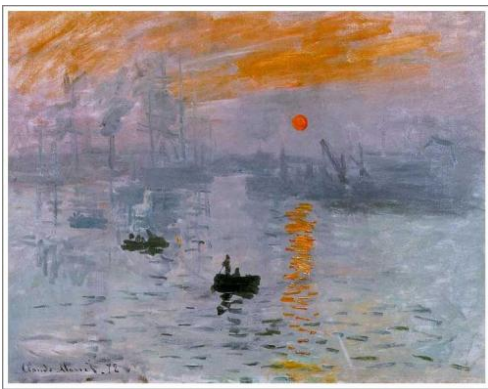


第4回 “印象派とめぐるフランス世紀末”

日本でも人気の高い「印象派」。モネやルノアールをはじめとしたその独特の画風は、19世紀後半のフランスの香りを今に伝えてくれます。なぜあの時代に、あのような絵画が生まれたのか？当時の政治や社会の動きをも踏まえながら、単に絵画にとどまらず当時の音楽（フォーレやドビュッシー）や文学（マラルメ）についても、映像や音を使ってお話してゆきたいと思います。「印象派」を通して、19世紀後半のフランスへタイムスリップしてみませんか？

（シニアの方々へ、というご案内ではありますが、高齢化社会に向かう日本にあって、ご自分のシニア時代を先取りして、これからは備えようというシニア予備軍（？）の方々にも、是非ともご来場いただきたくご案内致します）



日時：平成21年5月23日（土）午後1時半 4時
場所：江戸川区総合文化センター 研修室&ロビー（3階）
（江戸川区中央4-14-1）
主催：江戸川区音楽ユビキタス シニア音楽祭・実行委員会
後援：江戸川区
内容：1時半 3時 トーク“印象派とめぐるフランス世紀末”
3時 4時 懇親タイム
参加費：500円（含：コーヒーなどドリンク、クッキー等）
募集人数：100名（直接会場へどうぞ）

トーク：小宮正安さん（ヨーロッパ文化史研究家・横浜国立大学准教授）
プロフィール



1969年東京生まれ。東京大学大学院人文社会研究課万期単位取得。専門はヨーロッパ文化史及びドイツ文学。現在、大学にて教鞭をとりながら、テレビへの出演、雑誌への寄稿など積極的な活動を続けている。

〔主な著書〕『祝祭の都ザルツブルク～音楽祭が育てた町』（音楽之友社）、『オペラ楽園紀行』（集英社新書）、『ハプスブルグ家の宮殿』（講談社現代新書）、『愉悦の蒐集—ヴンダーカンマーの謎』（集英社新書）、『ヨハン・シュトラウス—ワルツ王と落日のウィーン』（中公新書）

< 予告 >

第5回 平成21年6月27日（土）午後1時半 4時

“津軽三味線 その真髄と魅力”

トーク：山本竹勇（津軽三味線演奏家）

会場：江戸川区総合文化センター・研修室

第6回 平成21年7月20日（祭・月）午後3時 5時半

“日本における西洋音楽事始”

トーク：白井伸幸（日本歌謡史研究家）

会場：グリーンパレス・ホール（4階）

（江戸川区松島1-38-1）

問合せ先：土谷庫夫（江戸川区音楽ユビキタス<EMU>代表）

cla-o@hotmail.co.jp tel/fax: 03-3650-2775

星野則昭（EMU・副代表） tel/fax: 03-3657-2416

